

やまがら

2020年
夏号
No.39

松山市議会議員
梶原ときよし

一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切に、子どもたちに安心未来を引き継ごう。
- 松山市立の総合病院を設立し、コロナ等感染症対策を含め市民の命を守ろう！

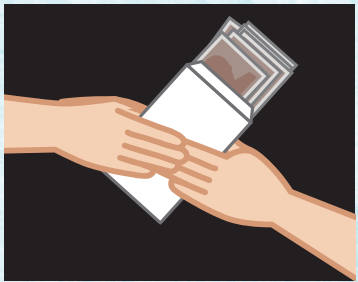


やまがら(山雀)
毎年、冬には自宅に来てくれます。



発行・梶原ときよし

普通なら逮捕されたといえ、容疑者に
対し抗弁の機
会が与えられ
るまでは、犯
罪有無の判断
をするべきで
はないと考え
ますが、今回
許せないのは
本件の疑惑が
浮上してから
半年近くにも及ぶ説明責任時間があ
りながら、何ら有権者をはじめ市民・国民に、疑
惑に対する説明を行うことなく逃げ回っ
ていたということです。



去る6月18日、アベ首相の側近である自
民党の河井克行前法務大臣と、妻で昨年7
月に参議院議員になった河井案里議員が、
公職選挙法の買収容疑で逮捕されました。
容疑内容は、昨年7月の案里被告の参議
院選挙前後において、広島選挙区内の県会
議員や市議会議員らに一人20〜30万円、延
べ97人に2570万円の現金を配り案里候
補支援の買収工作をした事などによるもの
です。

金権腐敗の自民党政権！
河井夫婦は即刻議員を
辞職せよ！！

2020年6月議会
一般質問
梶原 ときよし
2020.6.7

この点だけを捉えても議員としての資質が
ないことは明らかで、人としても情けないと
しか言いようがありません。即刻議員辞職が
必要ではないでしょうか。
組織は上から腐るといふ諺から今のアベ政
権を検証すると「アベさんに比べれば、私た
ちはまだ微罪」だと、河井夫婦が考えている
のではないかと考えてなりません。
森友・加計・桜とやりたい放題の私物化政
治に加え、「法の支配」という立憲主義をも
否定し、検察庁長官まで自分の意のままに
しようとする政治手法が「選挙前にお金を配
ったが違法ではない。買収でもない。法を犯し
ていない」と言わしめる、自民党国会議員の
脳みそまで腐らせる要因ではないかと思われ
ます。
法の番人でなければならぬ、前法務大臣
自らが法を犯し、選挙中に金を配っていたと
いう、前代未聞の選挙買収事件、選挙資金1
億5千万円の出所を含め徹底説明を行わな
ければなりません。
一つの選挙に1億5千万円もの選挙資金が
ポンと出されて平然としている与党の人達。
憲政史上、あり得ない不祥
事と重大失態を起こしながら
何の説明責任すら果たさない
アベ内閣や自民党国会議員達
が政治を行っている限り、残
念ながら、はつきり言って日
本に未来はありません。

松山市議会においても自民
党議員や国政与党議員が多数
を占めています。本市議会
議員だけは健全であつて欲し
いと願ひながら質問に入りま
す。

行政が行うべきコロナ対策の基本は、先ず
市民の命を守る事、次に生活を守る事、そし
て経済と文化を取り戻すことではないでしょ
うか。
コロナと共存していける体制・世の中を作
り上げるために、市長と議会は、もつと真剣
に取り組まなければ、市長も議員もいなくな
ります。全ての市民に信頼されて、それこ
そ誇れる松山にいくために、今私たちが
全力を尽くさなければならぬと考えます。

行政が行うべきコロナ対策の基本は、先ず
市民の命を守る事、次に生活を守る事、そし
て経済と文化を取り戻すことではないでしょ
うか。
コロナと共存していける体制・世の中を作
り上げるために、市長と議会は、もつと真剣
に取り組まなければ、市長も議員もいなくな
ります。全ての市民に信頼されて、それこ
そ誇れる松山にいくために、今私たちが
全力を尽くさなければならぬと考えます。

梶原 時義の 2019年度 政務活動費支出報告

(2019年4月〜2020年3月まで)

項目	金額
研修費	6,000円
広報費	473,060円
広報費	448,025円
事務所家賃	420,000円
支出合計	1,347,085円
収入合計	1,347,085円

政務活動費 1,224,001円
報酬より補てん 123,084円

政務活動費支出報告について
2019年度の政務活動費につきまして、
松山市議会政務活動費交付に関する
規則第6条の基つき上記の通り市長に
報告を行いました。



梶原ときよし(ネットワーク市民の窓)



全国市議会議長会から議員在職10年表彰を受けました。

新型コロナウイルス対策予算における 介護事業現場対応の無策と漁業者への支援ゼロ政策について 反対

5月の臨時議会、第3次補正予算審議の中で

私が、反対する議案は、議案第63号2020年度松山市一般会計補正予算第4号中、新型コロナウイルス対策予算における介護事業現場対応へのお粗末さと、農林水産業支援において、コロナ不況に苦しむ本市の漁業者を見殺しにしたとしか思えない「漁業者に関心もなければ、直接何の漁業者支援も行わない」野志市長の漁業者への支援ゼロ政策について反対致します。

また、松山南・浮穴及び三津浜の学校給食共同調理場、給食業務の民間委託化推進について債務負担行為を含め反対致します。まず、本市の介護事業現場への支援についてですが、介護事業者にとって絶対に必要とされているマスクや防護服などの介護に不可欠なコロナ対策備品や衛生用品支援が、未だに本市予算から何も行われていない事に大きな怒りを禁じえません。

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。
私は2020年度6月議会に提案されている一部議案に反対の討論を行います。

も本市の介護事業者1,242施設事業従事者18,500人、要介護者31,000人に対し、本市から、たった1円の支援予算計上もしていないことは絶対に許されないと、私が指摘したにもかかわらず、それを無視して、またまた今6月議会の第4次補正予算にも何ら計上していない事実は、高齢者の命を軽んじているだけでなく、高齢者施設に危険が大きいクラスター対策までも放置する愚かな行為に他なりません。

野志市長！やらないのなら、市長をやめてください!!お願いですから、これ以上高齢者に不安を与えないでください。
NHK番組のチコちゃんがこのことを聞いたら「ぼくとして生きてんじやあねーよ!」と真っ赤になって怒ったに違いありません。

野志市長には、道後や商店街に大金をつぎ込む前にやるべきことがあるのではないのでしょうか。

それと今議会、もう一つ、看過できない予算案があります。それは、市長がコロナ感染拡大による農産物や水産物の市場価格低下が本市農業者の営農継続や本市漁業者の就業意欲をそぎ、それぞれの生活を圧迫させていることを把握していないから漁業者のみの何の支援も打ち出していないことです。

農業者には、国から1反当り5万円の現金給付での支援がある上に、今議会でも本市独自で、さらに1反当りさらに5万円の

現金給付が予算化されています。農家の基準が5反の畑を持つとすれば、1農家で50万円の現金支援になります。国と本市からの両面支援の農業者に対し、支援策ゼロの漁業者、漁に出ても油代が出ないという漁業者の現状をどうやって救済し、本市漁業を発展させるのか。第4次補正予算案には答えが出ていないだけでなく、どう考えても野志市長による漁業者差別だという以外に言葉が見当たりません。

TBSテレビ サンデーモーニングの張さんがこの事実を聞いたらきつと「喝」を入れると思います。私からは野志市長に差別政策をやめて、漁業者にもコロナ対策支援をするよう「喝2回の大喝(だいかつ)」を入れたいと思います。ですが、とりあえず漁業者支援をいれた予算への組み換えを求めて、現補正予算案に反対します。

行政が行うべきコロナ対策の基本は、先ず市民の命を守る事、次に生活を守る事、そして経済と文化を取り戻すことではないでしょうか。
コロナと共存していける体制・世の中を作り上げるために、市長と議会は、もつと真剣に取り組まなければ、市長も議員もいなくなります。全ての市民に信頼されて、それこそ誇れる松山にいくために、今私たちが全力を尽くさなければならぬと考えます。

梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258
FAX 089-947-2259

携帯 080-5669-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時〜午後5時まで(月〜木)
●金・土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

HPでは梶原の活動予定や 全定例議会での質問登壇が 動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。
ご連絡ください。

ホームページ 梶原ときよし 公式ホームページ 検索

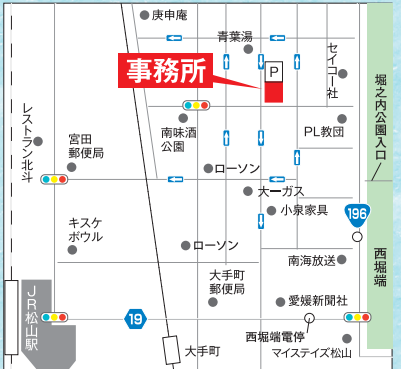
梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258
FAX 089-947-2259

携帯 080-5669-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時〜午後5時まで(月〜木)
●金・土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



議会質問

梶原ときよし

6月議会
一般質問より抜粋

2020年
6月24日



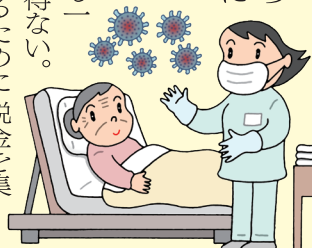
新型コロナウイルス感染症対策に関し、本市はこれまで本市の介護関連施設や従事者に対し、1円の支援も行っていない。
即刻マスクや防護服などの感染防止対策備品の支援を行うべきではないか。

梶原議員

5月の臨時議会において、私がこの件を質疑したが、市長は「介護事業者支援は愛媛県が当初予算で実施している」として、介護現場の実情を無視したやる気のない答弁をしたが、**現状は介護従事者や要介護者が安心して介護が受けられるための感染防止対策用の衛生用品や備品は極めて不十分な状態である。**

①県予算の松山市分はおよそ4,000万円しかなく、本市の介護関連施設1,242施設、介護従事者1万8千5百人、要介護者3万1千人合わせて約5万人の介護現場にかかわる市民の命を守る対策がマスク85,000枚（一人4〜5枚）、ガウン1,351着（14人で1枚）、手袋1,000枚（18人で1枚）、アルコール326本（500〜720ml）、4事業者に1本）、アルコール綿552箱（2事業者で1箱）程度しかなくこの程度でコロナ感染拡大防止に対応できると思っているのか。

②私が、5月の第3次補正で指摘しているにもかかわらず、全く無視して6月の第4次補正にも予算化しなかったことは許せない。理由を示せ。
③いつ再来するかかわらない第二波、第三波に備える気があるのか。
④集団感染が起きやすい介護施設には高齢者が多く、命の危険も一番高いと言わざるを得ない。
市長は市民の命を守るために税金を集中させるべきではないのか。



保健福祉部長の答弁

衛生用品等の全国的な品薄状態が続く中、国や県、本市では、できる限りの供給や支援に努めてきたところであり、今般、国から、さらに供給されることが示され、**9月までにマスクを約22万枚、10月以降、令和3年3月までの半年間、毎月約64,000枚を配布できる予定となっています。**

また、本市では、国が補助の対象を拡大したことから、感染者や濃厚接触者等にサービスを提供した介護事業所等に対しても、支援できることになりました。

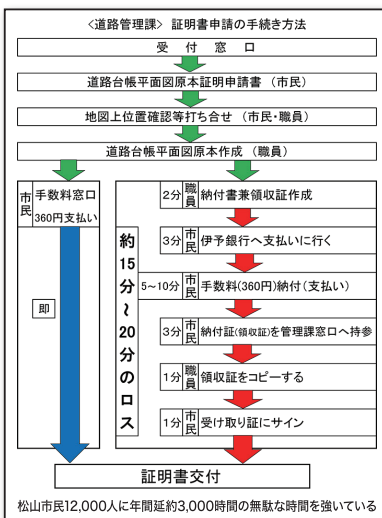
コロナ対策の基本はスピードです。あまりにも遅い介護対策を改め、即刻第二波、三波に備えなければなりません。

市民に負担をかけている

本庁の各種証明書発行を、短時間で交付するよう改善していくべきではないか。

梶原議員

本市はこれまで「たらい回しにされた」「何度も住所氏名を書かされた」などと市民から不評であった「死後の手続き」である死亡に伴う届け出の受付を「おくやみ窓口」として「死亡に関するワンストップ窓口」を本庁1階入り口正面に開設した。来庁した市民が受付シートに住所氏名や葬儀の日付などを記入すれば、後は担当者が決まった書式でパソコンに入力し、関連部署との確認作業を行ってこれに必要な15項目が一括で完了するというものだ。このように「お役所仕事」が改善されている（あっぱれ!!）部署がある中、**末だに本庁の各種証明書交付窓口において、交付申請に来た市民に多大な時間的負担をかけている多くの部署が存在する。**例えば都市整備部だけでも30種以上の証明書等の申請において、その手数料支払いを窓口で受け取らず、市民はわざわざ1階の伊予銀行まで振り込みに行かされ、その領収書を持って再び窓口に戻らなければ証明書を交付しないという「お



役所仕事」が存在する。

①実際に私が経験した道路管理課の道路台帳平面図交付申請においては、**証明書作成後、窓口で手数料を受け取ってくれば即もらえたのに、**

- ・納付書作成（職員：2分）
- ・伊予銀行窓口への移動（市民：3分）
- ・順番待ち待機を含め手数料360円の納付（市民：5〜10分）
- ・再び領収証を6階の窓口へ持参（市民：3分）
- ・領収証のコピー（職員：1分）
- ・受取書にサイン（市民：1分）後やつのこと
- ・証明書を受け取ることができた（約15分）
- ・市民に1申請で約15分以上の時間的ロスを負わせている現状をどう認識しているのか。
- ②いつからこんな「お役所仕事」をこんな理由で続けているのか。また、一月約1,000人、年間で約12,000人の市民が証明書申請のために、苦痛を感じている窓口対応をいつまで続けるのか。
- ③過去の職員金銭不祥事再発防止を市民の犠牲で対応していることは許されないと考えるがどうか。

都市整備部長の答弁

道路台帳平面図は、法的義務はなく市民サービスの一環として行っているものです。**多大な負担ではないかと考えています。**

証明書などの手数料について、の証明書などは多種多様で、**今後も現在の対応を継続します。**

「多大な負担ではない」と旧態依然の「お役所仕事」を続けるという、お上意識丸出しの幹部職員が中を効かしている限り、市民からの信頼は得られません。市民のひとりとして「喝」を入れます。



新型コロナウイルス対策第4次補正予算案には、市場価格が低迷した花きや野菜を生産する農業者に対し営農継続の支援として現金給付が行われるが、それ以上に市場価格が低迷したと思われる漁業者にも支援を行うべきではないか。

梶原議員

今回のコロナ災害における農林水産物に対する市場価格低迷の影響は、「花き」や「野菜」などを生産する農業者だけではなく、本市沿岸で底引き網や一本釣りを営む漁業者にとっても漁業継続の大きな足かせになっており、**農業者と同様な支援は不可欠である。**

①市長が農業者のみ支援を決定し、漁業者を無視した理由は何か。



農林水産担当部長の答弁

今回の新型コロナウイルス感染症拡大による水産物への影響についても、市場の取り引きなどを通じて、**価格が低くなっていることを把握しており、水産物などの消費を喚起しているところ**です。

加えて、**国の2次補正予算で具体的な支援メニューが明らかになった時点で、本市の追加支援策などについて、県や漁協などの関係機関と協議を進め、本市漁業の維持・発展に努めたいと考えています。**

市場価格の低迷を把握しながら、漁業者への支援をゼロ政策は、許されません!!



梶原議員

本庁内の他部署では「うちの課で金銭不祥事はあり得ません」「市民サービスとして当然です」と窓口で手数料を受ける課もある。当たり前とは思うが、本庁内での市民への対応を「市民の気持ちに寄り添う市役所」にするという視点で統一していいかげん「お役所仕事」は、やめるべきではないかと考えるがどうか。

総務部長の答弁

手数料等の収納については、総合的な観点から検討し、こうしたことから、**収納方法を統一することは考えていません。**

※明らかに意味不明の答弁

野志市長はリーダーシップを発揮して、市民本位の市政執行を行なわなければ、チコちゃんに「ボーっと生きてんじゃねーよ」と叱られますよ!



庁内雑音のヒトコマ

幹部職員 B: 今度、梶原議員が監査委員に選ばれたらしいぞ!!

幹部職員 K: え〜! 梶原議員が監査委員ですか?! それ、やばいじゃないですか? どうするんですか? 部長!!

幹部職員 B: あ〜! 梶原議員。監査委員就任おめでとうございます。

梶原議員: ありがとうございます。大切な税金が無駄に遣われないよう、しっかり監視していきます。

終わりに

はい。残念な答弁ばかりですが、これ以上言っても、馬の耳に念仏状態で松山市政を改善する気持ちも気概も野志市長には持ち合わせて無さそうですので、この辺で終わりたいと思います。先日、元参議院議員で東京都知事候補の山本太郎さんが街頭演説で「自分の人生の先しか見ていない人に政治をして欲しくない」と訴えていましたが、なるほど、アベ夫婦も河井夫婦もびつたりだなと感心させられました。

野志市長には、新型コロナウイルス対策として、市民に対し密閉・密集・密接、いわゆる三密防止を求める前に、**市政における知識がないという無知**、例えば「PCR検査は本人の希望により実施するものではない」という市長答弁とか、**知恵がないという無智**、例えば「介護関連施設や従事者に支援を行わないために起こるクラスター発生懸念、そして恥を知らないという無恥、例えば「お店・中小事業者や農業者は支援するが、漁業者は支援しないという支援ゼロ政策」「この無知、無智、無恥という三ムチ政策を改める市政を、行わなければ、市民がいくら自衛をしても生活不安は大きくなるばかりです。本市におけるコロナ対策の基本は、市民に三密防止をお願いするだけではなく、先ずは市政の三ムチ防止であることをあらためて指摘しておきたいと思います。

野志市長をはじめ、ここにいる男はかなりの女性差別状態を何とも感じない幹部職員の皆さん、本市にはコロナで明日の生活にも厳しい人たちが大勢存在することを肝に銘じていただきたいと考えます。

弱者に充分な配慮ある行政執行をお願いして私、梶原時義の質問を終わります。